

野菜の紹介

本日は夏野菜のご紹介第4弾！
トマトのご紹介です！

南アメリカのアンデス山脈高原地帯原産で
ナス科ナス属の多年生植物また、その果実のこととします。
果実を野菜として利用する果菜類で緑黄色野菜の一種。
アカナス（赤茄子）などの別名でもよばれています。

大きさでは、
だいたい100g以上を大玉トマト、
100～30g程度を中玉（ミディ）トマト、
30～10g程度をミニトマト、
1cm以下はマイクロトマトとも呼ばれています。



農林水産省の野菜生産出荷統計によれば、
トマトの作付け面積は、1985年ごろから減少傾向にあり、
ピーク時の75 %程度にまで落ち込んでいます。

アンデス山脈が原産の為水をあまり必要としませんが、
水が多いと実が割れたり味が薄くなったりしてしまいます。
台風が多い年にトマトが高くなるのは
それが原因といえるでしょう。。。

トマトは取ってそのまま食べるのがおいしい！

太陽熱消毒の紹介

太陽熱消毒（太陽熱土壌消毒）とは、
夏の一番暑い時期に土を透明なビニールで覆い、
太陽の熱で地温を上げて病気のもとや
害虫、雑草の種を退治する方法です。
農薬を使わない安全な土作りと言えます。

行う時期と必要な期間時期は
1年で一番暑い、7月の中旬（梅雨明け）から8月下旬、
9月上旬までが最適です。
しっかりと太陽の熱に当て、
ビニールの中の温度を上げていきます、
サウナと同じ要領で土の内部まで温度が上が70℃を超え、
消毒を行えます。

ちなみに…
雑草の種や虫の卵は60℃から65℃で死滅します。

土壌はぼこぼこでも大丈夫ですが、
ビニールに穴があると効果が薄まるので注意が必要です。

益虫と害虫

益虫（えきちゅう）人や作物に良い働きをする虫、
害虫（がいちゅう）損や被害を与える虫です。
代表例として、
益虫はデントウムシやミツバチ、
害虫はアブラムシやカメムシが挙げられます。

同じ種類の虫でも、
状況や立場によって益虫にも
害虫にも変わることがあります。

主な益虫と働き

デントウムシ：
野菜を弱らせるアブラムシを食べてくれる。

ミツバチ：
花粉を運んで植物の受粉を助け、蜂蜜を作る。

主な害虫と被害

アブラムシ：
植物の汁を吸って、作物を弱らせる。

カメムシ：
果物や野菜の汁を吸って傷つけ、悪臭を出す。

タバコガ：
トマトの実に幼虫が侵入し、作物を食べる。

東京武蔵野市ホームページ

育てるつながる

農業体験教室につきましては
武蔵野市緑のまち推進課のHPを
ご覧ください。



各コースの応募につきましては
こちらをご確認ください。



管理運営：株式会社ファクティブ

夏休みに入ります

熱くなってきましたが、全講座夏のお休みに入ります。
ですが、お休みの期間も収穫と除草をお忘れなく・・・

特にオクラは3日目を超すと巨大化しています！
皆さんのオクラは大丈夫ですか？

除草もこまめに行えば大変な事にはならないので
収穫がたら区画の中の1ヶ所・1mだけでも除草を行っていただき
秋冬が始まる時に追い込まないようにしましょう！



